花と太陽と風

学校だより第１８２号
平成29年 6月25日
小千谷市立千田小学校

小千谷市立千田小学校長　　佐 藤　久 美 子

チャレンジする楽しさを語り継ぐ

子どもたちの将来の夢を広げること、これが学校の大きな使命です。そのために先ずは、教員自らが「夢や希望をもった存在」として子どもの前に立つ必要があります。「自分もこんなふうになりたい」と感じる大人との出会いが子どもの人生を彩らせる糸口になります。そういう大人に出会えた子どもは幸せです。そして私たちは、そういう存在でありたいと願い続けています。当校では、教職員自らが、広く・深く・楽しくチャレンジすることに努めています。人生の幅を広げ、「絆・夢・命を輝かす」ことがミッションです。「野球チームに所属し、試合に出場している」「ご飯作りを研究中」「水泳・ダンスで体力づくりとストレス発散」「家庭菜園で野菜作り」「登山が大好き」「料理と裁縫が特技」「旅行と読書三昧」等々、職員の潤いが豊かな教育につながっています。チャレンジする楽しさを語り継ぐ存在でありたいと感じます。

さて、先日の小千谷市演劇鑑賞会の数日前、「子役（ステージで演じる代表）１名を千田小から選出してほしい」という依頼が届きました。６年生担任が教室で声をかけたところ、４名もの立候補がありました。「代表になりたい」という熱意をもって、４名全員が堂々と声を出してオーディションを受ける姿に、多くの職員が心打たれました。「チャレンジしてみよう」という意欲はかけがえのないものであり、頼もしく感じます。子どもたちは、鑑賞会終了後、以下の感想を書きました。「演劇が始まった瞬間に、話の中に吸い込まれたような感じになりました。特に、お腹から出す大きな声を、長い台詞でできることがすごいと思いました」「朗読劇で、“おさよ”を演じました。“おさよ”は心優しい人なので、少しでも“おさよ”に近付けるように頑張りました」こうしたチャレンジが、将来の夢を創っていくことでしょう。教室でも職員室でも一人一人の努力・成長に目を向け、プラスのイメージを広げることを貫いていきます。長所伸張型の声がけにより、子どもの自信を高めていきたいものです。

自分のよさを生かす ＆ 自分を好きになる

2020年度（平成32年度）から、新しい学習指導要領に基づいた教育が展開されることとなります。「一人一人の子どもが自分の価値を認識するとともに、相手を尊重し、多様な人々と協働しながら社会変化を乗り越え、よりよい人生と社会を築くこと」を目指した教育です。主体性・協働性がいっそう重要視されます。先日、面白い資料（下表）を見つけました。「Ⅰ 近代型能力（1980年代まで）」の時代に育った私たち教員が、「Ⅱ ポスト近代型能力」の教育（自ら体験していない教育）を担っていくのです。人間は自分の経験をもとに考えるのが常ですから、かなりの意識改革が求められます。学校全体で研修を積んで、自分のよさを生かしながらたくましく生き抜く子どもを育めるようにしていきます。

【近代型能力とポスト近代型能力の比較対照表】　　**東京大学教授　本田由紀氏による・2005年**

Ⅰ近代型能力（1980年代まで求められた力）⇒	**Ⅱ ポスト近代型能力**（新しい教育の視点）
基礎学力	「生きる力」
標準性	多様性、新奇性
知識量・知的操作の速度	意欲、創造性
共通尺度で比較可能	個別性、個性
順応性	能動性
協調性、同質性	ネットワーク形成力、交渉力